

JA 三脚グリップ

EN Tripod Grip

FR Grip avec trépied

DE Griffstativ

TG-BT1

FF220003

JA 使用説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、Bluetooth対応の三脚グリップ（以降、本製品と記載）です。

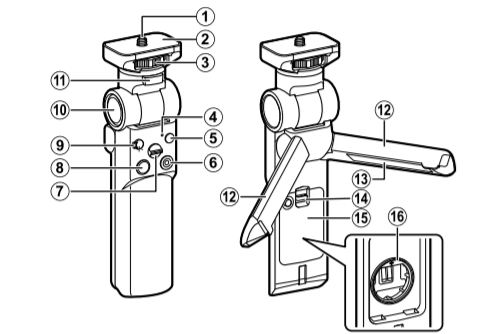
本製品が対応するカメラについては、以下の弊社ウェブサイトをご参照ください。

https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/accessories/

ソフトウェアのライセンスに関する情報は以下の弊社ウェブサイトをご参照ください。

https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/manual/accessories/

各部名称



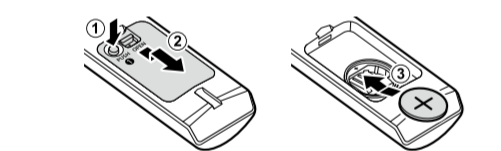
- 装着ねじ
- カメラ台座
- 肩脱ダイヤル
- インクメーカーランプ
- ⓪ (Bluetooth) ボタン
- 動画撮影ボタン
- T (望遠ズーム) W (広角ズーム) ボタン
- シャッターボタン
- 操作ロックスイッチ
- カメラ台座
- アングル調整ロック解除ボタン
- 回転ロック解除ボタン
- 三脚定
- 銘板プレート
- 電池カバーロック
- 電池カバー
- 電池挿入部

- 操作ロックスイッチを **LOCK** に合わせると、誤動作を防止することができます。
- 銘板プレートには CMIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。

使い方

■ 電池を入れる

- 電池カバーロックの横にある丸いボタンを押しながら (①)、電池カバーロックを押し上げて (②)、電池カバーを取り外してください。
- 図のように電池の ⊕ 側を上にして電池を入れてください (③)。電池挿入部の ⊕ マークは、電池の向きを示しています。
- 電池カバーを取り付けてください。



■ 本製品をカメラとペアリングする

富士フィルム製デジタルカメラの手順の一例です。詳しい手順については、本製品に対応しているカメラの使用説明書をご覧ください。

ペアリングをする前に

カメラやカメラのファームウェアが本製品に対応しているかを確認してください。

- 本製品の操作ロックスイッチがロック解除されていることを確認します。
- カメラの **⓪** (Bluetooth) ボタンを長押しします。Bluetooth 設定画面が表示されます。**Bluetooth > Bluetooth ON/OFF** で **ON** を選びます。
- Bluetooth > ペアリング** を選びます。カメラ側のペアリングが開始されます。
- 本製品の **⓪** (Bluetooth) ボタンを長押しします。本製品側のペアリングが開始されます。
- ペアリングが成功するとカメラの画面に**ペアリング完了**と表示されます。

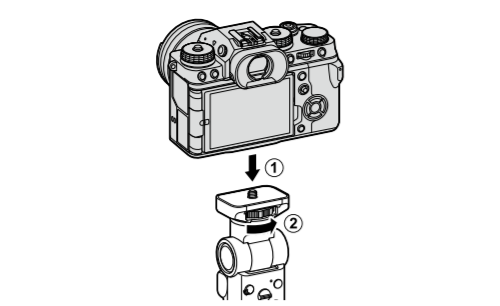
- Bluetooth® の接続状態によって、カメラの画面に次のアイコンが表示されます。

アイコンなし	Bluetooth® 非接続
	接続中
	接続中 (ロック)
	接続中 (電池残量少)
	接続中 (ロック & 電池残量少)

- ペアリングに失敗すると、本製品のインクメーカーランプがすばやく点滅します。その場合は手順を最初からやり直してください。
- 以下の場合は再度ペアリングをしてください。
 - 本製品で別のカメラを操作するとき (本製品と別のカメラを接続後、元のカメラと再度接続するとき)、もう一度ペアリングをする必要があります)
 - カメラの初期設定をリセットしたり、ペアリングを削除したりしたとき
- 本製品はカメラとペアリングしていないときや、ペアリングしているカメラの電源がオフのときは、2分経つと自動的にスリープ状態になります。

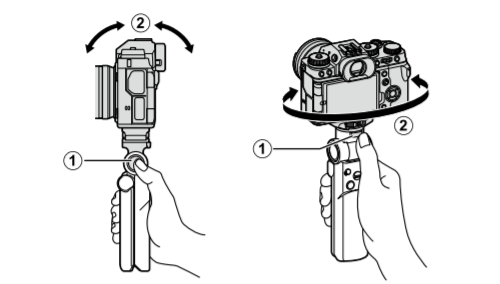
■ カメラを取り付ける

カメラの三脚用ねじ穴と装着ねじを合わせ、着脱ダイヤルを回してしっかりと固定してください。



■ カメラの角度を調整する

- カメラ本体を手で押さえないから、アングル調整ロック解除ボタンを押してカメラの上下方向の角度を調整します。10° ごとに固定できます。
- 回転ロック解除ボタンを押すと、カメラの左右方向の角度を調整できます。90° ごとに固定できます。

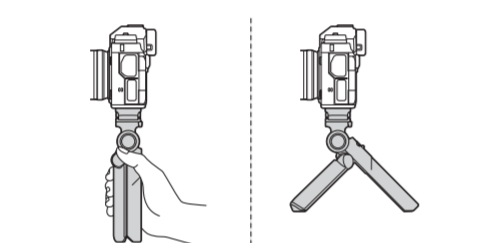


■ 撮影する

- 静止画を撮影するときはシャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、さらに深く押し込みます。
- 動画を撮影するときは動画撮影ボタンを押すと動画撮影を開始します。もう一度押すと撮影を終了します。
- 電動ズーム機能のあるズームレウスを使用しているときは、T (望遠ズーム) W (広角ズーム) ボタンをまたは W の方向に押ししてズーム操作ができます。半押しすると低速で、深く押し込むと高速でズームします。

■ 三脚として使用する

- 三脚定を止まるまで広げ、平らな場所に置いて使用します。
- 置く場所や取り付けるカメラによっては、バランスが取れず不安定になることがあります。不安定な状態では使用しないでください。



ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

ご使用前に必ずこの「使用説明書」特に「安全上のご注意」と弊社ウェブサイト上にあるカメラの「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

危険 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が差し迫って発生することが想定される」内容です。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の給表示で説明しています。このような給表示は、気を付けていただくべき「注意喚起」内容です。

このような給表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような給表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険 本製品はコイン電池が同梱されています。液漏れや発熱、発火、破裂、誤飲によるけがやけつど、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。

危険 コイン電池を飲み込まない。化学やけつの原因になります。コイン電池を飲み込むと2時間程度で内臓に重度のやけどを引き起こし、死亡することがあります。

危険 コイン電池を飲み込んだり体のどこかに入れたりしたと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けろ。

危険 コイン電池をお子様の手の届くところに置かない。コイン電池は小さいためお子様が誤って飲み込む可能性があります。お子様の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合や体のどこかに入った場合は、ただちに医師と相談してください。

危険 電池カバーが開まらない場合は使用しない。本製品の使用をやめ、お子様の手の届かないところに保管してください。

危険 お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

危険 異常が起きたらカメラの電源を切り、カメラおよび本製品の電池・バッテリーを外す。煙が出ている、異常がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

危険 お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

警告 異常が起きたらカメラの電源を切り、カメラおよび本製品の電池・バッテリーを外す。煙が出ている、異常がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

警告 お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

警告 異常が起きたらカメラの電源を切り、カメラおよび本製品の電池・バッテリーを外す。煙が出ている、異常がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

警告 お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

警告

警告 製品内部に水や異物を落とさない。製品内部を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。

水・異物が内部に入ったら、カメラの電源を切り、カメラおよび本製品の電池・バッテリーを外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

・お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

風品、シャワー室で使用しない。 火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない(ケースは絶対に開けない)。 火災・感電の原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。感電やケガに注意して速やかに電池を取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

誤って飲み込む恐れがあるため、本製品の電池カバーや同梱物を口に入れない。

指定外の方法で電池を使用しない。 電池外は (※①) 表示どおりに入れてください。

電池を分解、加工、加熱しない。 電池を落としたり、たいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池の液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

電池を充電しない。電池をショートさせない。

電池を金属製品と一緒に保管しない。電池の発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

指定外の電池を使用しない。 火災の原因になります。

電池の液が濡れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガの恐れがあるので、たちちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

電池が正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換は同一のものだけを使用してください。

可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池を廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセンサーテープなどのご線テープをはる。 他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

飛行機内、病院で使用する、航空会社、病院の指示に従う。 本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

注意 異常な高温になる場所に置かない。窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。

注意 本製品を布や布巾でおおったりしない。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

注意 濡れた手で触らない。感電の原因になることがあります。

注意 お手入れの際や長時間使用しないときは、電池を外す。火災・感電の原因になることがあります。

注意 本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。

注意 ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などへの誤作動の原因になることがあります。

・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

Thank you for supporting FUJIFILM. You are now the owner of a Bluetooth-compliant tripod grip (referred to below as the "product").

For a list of compatible cameras, visit: https://fujifilm-x.com/support/compatibility/accessories/ For software license information, visit: https://fujifilm-x.com/global/support/manual/accessories/

■ 本製品は Bluetooth® 機器としてお使いください。Bluetooth® 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth® 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電源システムなどの用途に使用するときはお使いになるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を完全に行ってください。

■ Bluetooth® 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。本製品の Bluetooth® 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お買い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外のご使用へのトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。電磁気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術標準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解、または改造すること

・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器

・工場・製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局 (1) 構内無線局 (免許を要する無線局) (2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品が移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品が移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

■ 本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が 40m 以下であることを意味しています。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が 40m 以下であることを意味しています。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

Owner's Manual

Thank you for supporting FUJIFILM. You are now the owner of a Bluetooth-compliant tripod grip (referred to below as the "product").

For a list of compatible cameras, visit: https://fujifilm-x.com/support/compatibility/accessories/ For software license information, visit: https://fujifilm-x.com/global/support/manual/accessories/

■ 本製品は Bluetooth® 機器としてお使いください。Bluetooth® 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth® 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電源システムなどの用途に使用するときはお使いになるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を完全に行ってください。

■ Bluetooth® 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。本製品の Bluetooth® 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お買い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外のご使用へのトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。電磁気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術標準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解、または改造すること

・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器

・工場・製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局 (1) 構内無線局 (免許を要する無線局) (2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

